

## 高等部職場施設見学を実施しました

7月2日(火)、高等部職場施設見学を実施しました。6月の現場実習の直後だけに、見学先で働く先輩方の様子を見ながら、自分ならできるのか、自分がやりたい仕事なのかなど、自分のこととして見学することができた生徒が多かったようです。見学最後の質問タイムには積極的に質問する生徒の姿も見られ、卒業後の進路について自分の考えを深める機会となりました。ただ、生徒によっては、説明された内容と同じことを質問したり、仕事のことよりもレクがあるかどうか気になったり、何度も促されないと(個別に声をかけられないと)移動できなかったり…と、“自ら進路を考える！”といった意識が育っていないと感じられる場面もありました。“自ら考え自ら動く”といった経験を、日々着実に身に付けているか確認するよい機会にもなりました。

### 「NPO法人 team.Step by Step あいおらいと (B型)」

新たに藤崎町に誕生した施設です。閉校になった高校の校舎を活用しています。1階はリンゴカという藤崎町のリンゴに関する展示や体験ができる施設となっており、こちらも見学しました。

キノコ(椎茸、なめこ、キクラゲ、青森キクラゲ)の栽培や加工、そして、施設内の清掃を中心とした作業が行われています。キクラゲの収穫体験に挑戦した生徒もいました。



### 「東和電機工業株式会社」

毎年、高等部の校内実習用にボルトナット等の部材を提供していただいている会社です。校内実習でのボルトナットの仮組作業(現場で使いやすいように、ボルト、ナット、ワッシャー、スプリングワッシャーのセットで組んでおく作業)の後、どのような製品になっているのか、広い工場内を見学しながら学びました。工場内で金属を切ったり曲げたり、溶接・塗装したりするようすを間近で見ること、社員の皆様の真剣な仕事ぶりを肌で感じることができました。



### 「青森県障がい者職業訓練校 (作業実務科)」

このところ毎年、訓練校に進学する生徒がいます。知的障がいのある方は作業実務科のみが入校対象(期間は1年)となります。作業実務科では、農作業、福祉関係業務(ベッドメイキング、車椅子操作等)、清掃業務、PC 入力練習等の学習を、専門家から直接学ぶことができます。訓練校入校を目指すには、働く意欲があること、1年間休まずに通えること、バスや電車を乗りついたり、自転車を利用したりして、自分で通学できることが最低限の条件となります。今春の卒業生は、グループホームに入り、そこから通学しています。



### 「昼食 (ヒロロ4F フードコート)」

昼食は、ヒロロ4Fのフードコートで摂りました。一人でサッと注文し、食べ始める生徒、一人で注文できず“もじもじ”する生徒、呼び出しベルを置きっぱなしでトイレに行ってしまう生徒、時間がかかる料理を注文し、集合時刻までに食べ終えられなかった生徒…様々でした。言葉を発しなくとも、指差注文、支払い、おつりを受け取り、一人で食事を楽しめている卒業生もたくさんいます。障がいの重軽でなく経験の差です。普段の生活がしっかりと現れた瞬間でした。

